

本学では、社会貢献の一環として、
模擬講義や職場体験実習といった
中・高大連携事業を実施しています。

札幌開成中等教育学校 特別講義を実施。

2023年1月10日(火)・11日(水)の2日間にかけて、本学当別キャンパスにて札幌開成中等教育学校の3年生14名を対象とした「プレ先端科学特論」を開講しました。

1日目は、先端研究推進センターの太田亨教授による講義を受講し、遺伝学の基礎である遺伝子やゲノム構造、遺伝子解析などを学びました。また、午後は口腔粘膜遺伝子解析を体験。専門的な実験道具を用いながら、口腔粘膜の採取やPCR反応を体験しました。

2日目は、看護福祉学部看護学科の塚本容子教授による講演を受講。「その後の、コロナ感染症」と題した講演を聞き、コロナ感染症への正しい理解と知識、マスクの着用方法を学びました。午後は岩手医科大学の徳富智准教授による演習を受講。遺伝性疾患の理解を通して医療で用いる家系図の重要性について知るとともに、自動家系図作成ソフト「f-tree」を用いて家系図を作成し、さらに理解を深めました。また、いわて東北メディカル・メガバンク機構イノベーション推進・人材育成部門 吉田明子特命助教が認定遺伝カウンセラーの業務内容や資格取得について講演。全国に350名程度しかいない遺伝カウンセリングの専門家の講演に、参加された生徒の皆さんも興味を持った様子でした。

プログラムの最後には、1日目に採取した自分のDNAを解析するとともに、タマネギからDNAを採取し、糸状のDNAを実際に目で見て確認しました。

参加された生徒の皆さんは、最初は緊張した面持ちを見せたものの、プログラムが進むにつれて笑顔を見せながら実験に参加したり、講師に自ら質問するなど、研究所ならではの講義や体験を通して、知識と関心を深めていました。



札幌市立高等学校 模擬講義を実施。

2023年1月6日(金)、札幌市立高校(札幌旭丘高等学校、札幌開成中等教育学校、札幌清田高等学校、札幌啓北商業高等学校、札幌新川高等学校、札幌平岸高等学校、札幌藻岩高等学校、札幌大通高等学校)の学生9名が、本学当別キャンパスで開催の「医療系進学ガイダンス」に参加しました。このプログラムは、大学と高等学校の教育活動(授業等)に対する相互支援を目的として行われたものです。

本学概要説明とキャンパス見学を行った後、看護職コースとリハビリテーション職コースに分かれ、模擬講義を行いました。高校での授業とは異なり、各職種の専門領域から職業についての理解を深めるなど、大学ならではの講義に積極的に参加する姿が見受けられ、教員とコミュニケーションを取りながら受講する姿が印象的でした。今回の体験学習プログラムの経験が将来の進路選択・決定の一助となることを願っています。



札幌北高等学校 職場体験実習を実施。

2023年1月6日(金)、札幌北高等学校1年生13名が本学当別キャンパスを訪れ、職場体験実習を実施しました。従来は大学病院でのインターンシップを実施していましたが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から実施がしばらく見送られ、本年度は本学実習施設を活用しての実施となりました。薬剤師・看護師・公認心理師・理学療法士の4グループに分かれ、体験実習を行いました。薬剤師グループでは現場で活躍する卒業生から保険薬局での業務についての講話、注射剤の混合調製などの体験実習を実施。看護師グループでは術後患者を想定したバイタルサイン測定体験、多職種カンファレンスのデモンストレーションの見学など、現場さながらのプログラムに生徒の皆さんは真剣な眼差しで参加していました。それぞれの業務における役割の学習や本学における職場体験実習の経験が、生徒の進路意識や医療関連分野への関心を高めることにつながることを期待されます。

